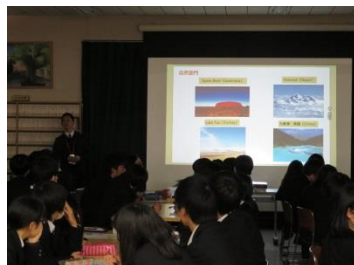


平成29年度 第2回 国際理解講演会 2018.3.7

3月7日（水）、本校図書室にて、国際文化情報学科の1・2年生を対象に、本年度2回目の国際理解講演会が実施されました。今回講師としてお越しいただいたのは、株式会社アイエスエイ関西支部にて支社長補佐を務めておられる森川大伍氏で、演題は「国際社会で働くこと」です。

初めは自己紹介から。高校卒業後は日本の大学へは進学せず、オーストラリアの大学へ進学されたそうです。全ての講座が英語で行われるため、苦労も多かったが、その分得ることも多かったとのことでした。その後は添乗員として勤務されていましたが、年間365日のうち約3分の2を海外で過ごしておられたそうです。

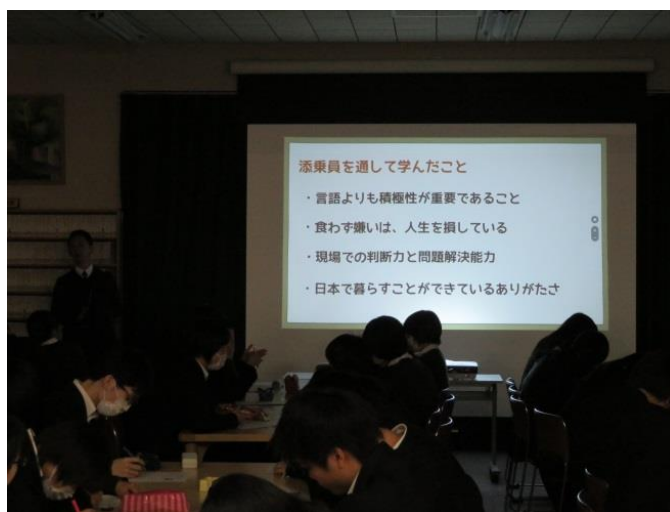
次に、添乗員として訪問した中で良かったと感じた国々を、「食物部門」「自然部門」「建造物部門」の3つの視点から紹介していただきました。

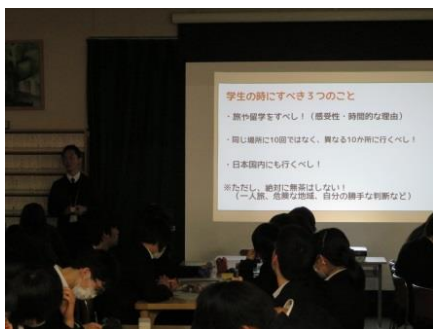


どの部門にも、一般的なガイドブックには載っていないような情報が散りばめられていて、生徒たちは興味津々でした。

そして、色々な国の事情も話してくださいました。例えば、エベレストの一人当たり約330万円の入山料はネパールの収入源のほとんどを占めていることや、ある国の航空会社の飛行機は別の国が使った中古品を更に中古品として使っていること、インドでは列車の出発時刻が24時間以上遅れることもあることなどです。日本と大きく異なるお国事情に声をあげて驚いている生徒もいました。

さらに、添乗員としての経験を通してご自身が学ばれたことを教えてくださいました。例えば、海外では言語よりも積極性が重要であることや、未体験のことを先入観によって食わず嫌いするのは人生を損していること、予測できない状況にトッさに対応できる判断力と問題解決能力が求められること、そして日本がいかに安全で過ごしやすい国であるか、などです。





また、学生時にしておくべきことも話してくださいました。時間的余裕がある時に感受性を磨くよう旅や留学をしておくべきであること、同じ1か国を10回訪れるよりも異なる10か国を1回ずつ訪れる方が視野を広げられること、海外だけでなく日本国内も色々と訪れて自国のことをより広く知っておくべきであることなどです。

最後に、森川氏から鳴校生へのメッセージ。国際社会で働く人物になるためには、「英語が話せる人」を目指すのではなく、言語問わず「魅力あふれる話ができる人」を目指すことが大切であり、そのためには話の引き出しを多く持つべく、科目を問わず色々な授業を大切に、普段から知識を蓄える意識を持っておくことが重要とのことでした。



学科生にとって、憧れの「国際社会で活躍する」ことに求められることに加え、日々の生活から知識を学び取ることの大切さを再確認できた有意義な講演会でした。

【生徒の主な感想】

- 今回の講演会を聞いて、添乗員について様々なことを聞くことができました。また、僕が将来歩みそうな道を経験している先輩の人から、人生の助言を聞くことができて良かったです。森川さんから聞いたことを今後活かして、自分の将来につなげていきたいです。(1年生男子)
- 海外での体験を通して、日本を知ることの大切さを感じたと聞いて、一度海外で過ごすことはとても大切なことなんだと思った。海外で働くとなると、文化の違いもあるだろうし、大変だと思うけど、その分たくさんの事を学んだり体験したりできるんだと思った。自分の知らないような食べ物や場所があってびっくりした。日本と違って外国では不便なことが多いんだと思った。言語よりも積極性が重要だということで、これから学ぶことが多くなると思うけど、言葉だけじゃなくてそれ以外の事もたくさん学んでいこうと思った。(1年生女子)
- 「食べ物」「自然」「建物」各部門のランキングはとてもきれいなものだったり、美味しそうなものだったりして、面白かったです。色んな国を回って英語でコミュニケーションを取れるようになりたいと思いました。もっと日本を知っていききたいとも思いました。(1年生女子)
- 世界各地の紹介がとても面白くて、私も国際関係の仕事に就きたいという気持ちが強くなりました。また、人生でたくさんのことを経験していてすごいなと思ったし、世界の色々な豆知識を知っていて、聞いていてとてもおもしろかったです。(1年生女子)
- 中学校の時に参加したホームステイのプログラムが森川さんの人生を変えたのだと思います。受験に失敗してしまったからこそオーストラリア留学が決まったと聞いて、成功することだけがすべてではないと思いました。留学に向けて勉強する量は多大だったと思いますし、何度も諦めようとしたと思います。しかしそこまでしてもオーストラリア

に行きたいという強い意志が持てたのは、ホームステイから学んだ英語の面白さだと思います。今、海外と日本を繋げる海外添乗員をしつつ、私達高校生にその仕事について教えてくださるお仕事をしている森川さんですが、お話を聞いていたらとてもやりがいのある仕事だと感じました。自分の好きなことをたくさんの若者に伝えていくことはとても素敵だと思います。私も自分の興味のあることを将来多くの人に知ってもらい、好きになってもらえるような活動がしたいです。色々な国をまわるとその分発見も多いと思います。紹介してもらったキョフテやミートパイなどの国特有の料理は、きっとその地に行かないと味わえない味だと思います。そうして海外に行くことを楽しみに理由をたくさん作っておけば、更に楽しめると思います。私も初めてオーストラリアに行った時は驚きと発見でいっぱいでした。きっと海外に行きたいと思っている人は、その驚きや発見から何かを得た人だと思いました。(1年生女子)

- 今回の講演会で、色々な国の山や湖など、初めて知れたことが多かった。エベレストの入山料や中国の黄龍のことなど、今まで知らなかった貴重な話をたくさん聞くことができて実際に行ってみたいとなった。また、添乗員としてのなかなか聞けない実際の体験談が聞けてすごく楽しかった。日本にいたら気づけないことが聞けてすごく楽しかった。日本にいたら気づけないことがたくさんあると改めて分かったので、これから色々な国に行って色々な体験をしてみたいと思った。(1年生女子)
- 色々な自然遺産や食べ物、建造物を見たけど、エベレストしか知っている物がなくてもっと色々な物を知りたいと思った。また、イギリスに研修旅行に行ってホームステイをするときや、海外に行って外国人とコミュニケーションをとるときに日本の良さを伝えられるように、英語はもちろん、日本のことももっと学ぼうと思った。(1年生女子)
- 添乗員ならではの海外のおすすめの食べ物や場所を聞くことができて、とても面白かったし、興味がわきました。トルコのブルーモスクにすごく行ってみたいと思いました。添乗員の仕事は大変なことも多いと思うけど、私も海外に行ける仕事をしたいので、なりたいと思いました。アクシデントが起こった時に、対処する力がまだまだ足りないと思うので、落ち着いて判断する力を養っていきたいです。(2年生女子)
- 話の内容がどれも興味深いことばかりで、より一層海外に行きたいと思いました。また、英語を話せる人よりも、魅力ある話ができる人になることが今後大切になってくると聞いて、もっと積極的に人と関わり、また勉強もたくさんして、たくさんの知識を身に付けていく必要があるなと思いました。たくさんの国に行ったらたくさんの異なる文化や人々と関わる事は、絶対に自分の人生にプラスになると思うので、もっと海外に目を向けていきたいです。また、日本の文化についても知ろうと思いました。(2年生女子)
- 英国研修旅行のときに間近で添乗員さんの仕事を見ていて大変な仕事だなと思っていたのですが、今日の講演を聴いて、この仕事をしているからこそたくさんの国をまわることができ、色々な経験をしているからこそ学んでいることも多くあることを知り、人生の質を良くする良い仕事だなと思いました。また森川さんが最後におっしゃっていた、学生のうちにすべきことである「知識を蓄える」、言語を問わず「魅力あふれる話ができる人」になるということがとても心に残りました。今回の講演会は自分にとってとてもためになりました。(2年生女子)
- スライドがすごくクオリティが高くて見やすかったし、驚きました。海外に行ったら色々な人と話してみたいと思います。自分が目指している大学のカリキュラムで1年間

留学があるのですが、そこでしっかり学んでいきたいと思いました。（２年生男子）

- 森川さんは今までたくさんの経験をされてきて、その貴重なお話を聞いたことはとても良い機会だったなと思います。お話も分かり易くて、添乗員というお仕事に少し興味を持ちました。そして、もっと色んな国に行きたくなりました。エベレストに上るのに３３０万円かかったり Lake Tuz があまり有名ではない理由など初めて知ったことがたくさんあって、おもしろかった。サントシャペル(France)、サンピエトロ大聖堂(Vatican)に一度は行ってみたいと思った。森川さんのお話はなるほどと納得させられることばかりでした。改めて、勉強をがんばりたいなと思いました。（２年生女子）
- 講師さん自身の経歴の話もすごく面白かったです。話が本当に分かり易くて、スライドショーも見ることがない方法でとても惹かれました。台湾料理（バーワン）食べてみたいです！ Ayers Rock (Australia)、Everest (Nepal)、Lake Tuz (Turkey)、九寨溝、黄龍 (China) に行ってみたい！ サンピエトロ大聖堂 (Vatican)、サントシャペル (France)、聖ヨハネ大聖堂 (Malta)、ブルーモスク (Turkey) など、西洋の建物は日本のものと全く異なる色、素材、大きさで圧倒されるなと思いました。ただ、飛行機の面で日本は恵まれているなと思いました。やはり、異国の人は積極的に話すこと。それが成長の一番のことかなと。学ぶことが多くて、良い機会になりました！！（２年生女子）
- パリのサントシャペルのステンドグラスを生で見たいと思いました。トルコのブルーモスクもきれいな青色で、これも生で見たいと思いました。エアーズロックに上ってみたいので、絶対２０２０年までに行こうと思いました。エベレストに登るためには３３０万円もいるというのは衝撃でした。全然知らない国の名前もあって、もっと詳しくなりたいなと思いました。「英語を話せる人」が世界で将来活躍できるようになるんだと思っていたけど、今日話を聞いて、「積極性のある人」が良いんだなと思いました。勉強はしんどいし、難しいけど、たくさんの蓄積をつくるためにがんばろうと思えました。貴重なお話、ありがとうございました。（２年生女子）